

製品名: ISL1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80737**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	39kDa

抗原情報

遺伝子名	ISL1
別名	Isl-1; ISLET1
遺伝子 ID	3670.0
SwissProt ID	P61371
免疫原	大腸菌で発現したヒト ISL1 の精製された組み換え断片。

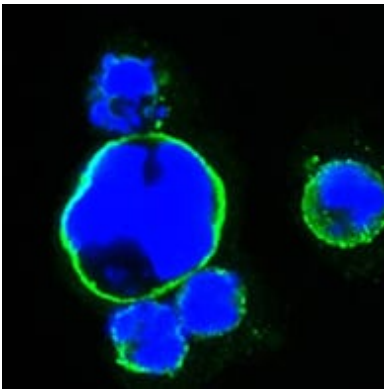
背景

ISL1 (ISL1 転写因子、LIM/ホメオドメイン) は、LIM/ホメオドメイン転写因子ファミリーの一員です。インスリン遺伝子のエンハンサー領域などに結合し、インスリン遺伝子の発現制御において重要な役割を果たす可能性があります。膵臓細胞系譜の発達において

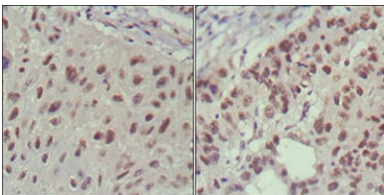
中心的な役割を果たし、運動ニューロンの発生にも必要である可能性があります。Islet-1 の発現は心臓前駆細胞集団を規定し、正常な心臓の発達と非対称性の形成に必要です。この遺伝子の変異は、若年成人型糖尿病と関連付けられています。

研究分野

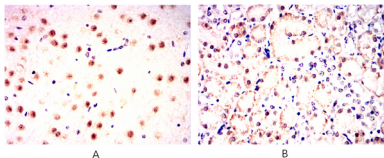
画像データ



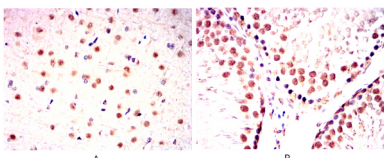
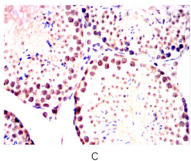
ISL1 マウス mAb (緑) を用いた、全長 ISL1-hIgGFc を導入した HEK293 細胞の共焦点免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



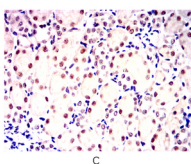
パラフィン包埋ヒト肺癌 (左) および子宮頸癌 (右) の免疫組織化学分析。DAB 染色による ISL1 マウス mAb を使用して核局在を示しています。

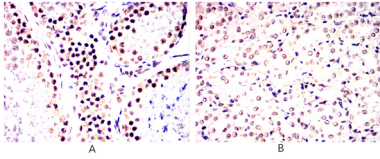


ISL1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋マウス脳 (A) マウス精巣 (B) マウス腎臓 (C) の免疫組織化学分析。



ISL1 マウス mAb と DAB 染色を使用した、パラフィン包埋ラット脳 (A)、ラット精巣 (B)、ラット腎臓 (C) の免疫組織化学分析。





ISL1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ウサギ精巣 (A) ウサギ腎臓 (B) の免疫組織化学分析。